



自閉式サーモスタット式シャワー・混合栓
KF190・KM190〈各仕様共通〉

取扱説明書

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
- この取扱説明書はKF190仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
 - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはけない「禁止」の内容です	この絵表示は、「分解禁止」の内容です	この絵表示は、「接触禁止」の内容です	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です
------------------------	--------------------	--------------------	----------------------------

やけど、漏水をした場合の処置
やけど やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。
漏水 漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工及び接合等の改造はしないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>小さいお子様だけの使用は避けてください。</p> <p> 禁止</p> <p>やけど・けがをするおそれがあります。</p>
<p>分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。</p> <p> 分解禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>器具の左側は給湯側のため高温になっています。器具（金属）の表面に直接肌を触れないでください。</p> <p> 接触禁止</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>	<p>湯側ソケットは給湯側の為、高温になっています。高温部に直接肌を触れないようにしてください。</p> <p> 接触禁止</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>
<p>高温の湯をお使いのときには吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。</p> <p> 接触禁止</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>	<p>湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。</p> <p> 接触禁止</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また吐水口とシャワーの切替時や、シャワー吐水状態の切替時に、吐水温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。</p>	<p>シャワー仕様の場合 お使いになる前に、吐水口用かシャワー用かを吐水ハンドルで確認してから湯をお使いください。</p> <p> 確認</p> <p>吐水口とシャワーを間違えると、やけどをするおそれがあります。</p>

<p>警告</p> <p>温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐水してください。</p> <p> 湯温を確かめて</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いの後は、必ず温度調節ハンドルの目盛を「40」以下に戻しておいてください。</p> <p> 40</p> <p>次に使用する時、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してから止水してください。</p> <p> 熱湯 水</p> <p>次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>
<p>温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、ハンドルはゆっくり回してください。</p> <p> ゆっくり</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>	<p>ストレーナの清掃は止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。</p> <p></p> <p>ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>シャワー仕様の場合 シャワーには60℃以上のお湯を通させないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>60℃以上はダメ</p> <p>通水させると器具が破損し、やけどをするおそれがあります。</p>

<p>注意</p> <p>器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回さないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p>配管などの解氷のため、解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>ヘッドをホースに取り付ける際は斜めに取り付けず、まっすぐ取り付けてください。</p> <p> まっすぐ取り付け</p> <p>ヘッドのねじ部は樹脂製のため、ねじがつかぬ、ホースに取り付けできなくなる場合があります。</p>	<p>シャワー仕様の場合 シャワー吐水ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。</p> <p> ゆっくり</p> <p>ゆっくり操作しないと漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>凍結が予想される際は、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。</p> <p></p> <p>凍結防止しないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

●修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。
 ☎0120-474-161 ※携帯電話からは、0574-55-1191をご利用ください。

水栓の品番をご確認ください
 水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。シールの左下が品番です。
 [シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください]

●商品に関するお問い合わせはKVKお客様ご相談センターにご連絡ください。
 ☎0570-099-552

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています
 技術料…診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用
 部品代…修理に使用した部品代
 出張料…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

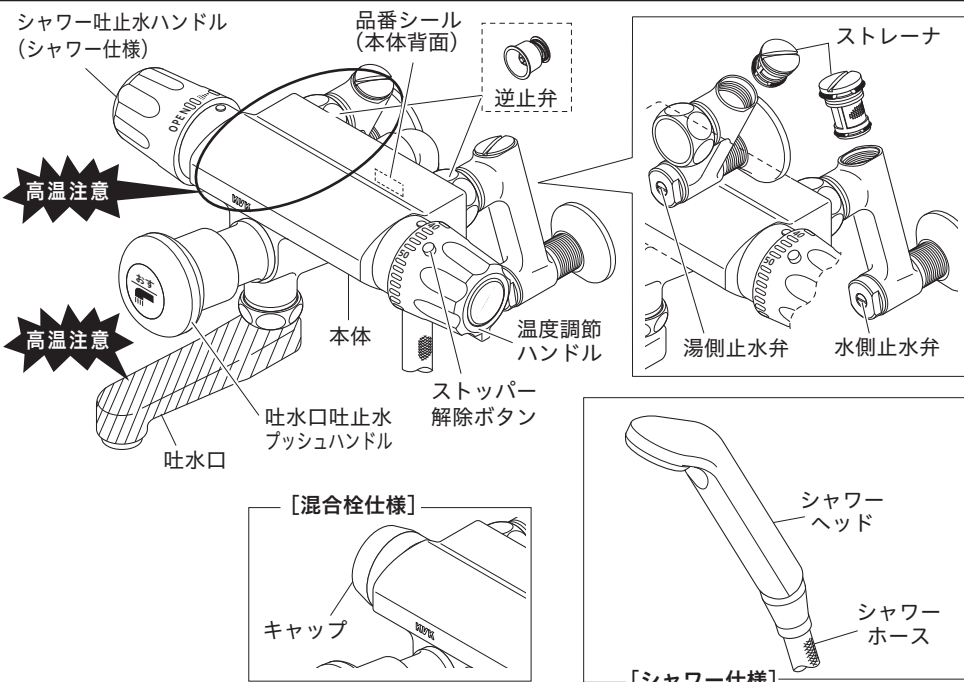
株式会社 KVK 本社・工場 / 〒501-1195 岐阜市黒野308
 インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

ご使用前に / ご使用方法

給湯機の使用上のご注意

- 給湯機の給湯温度は、必要とする吐水温度より10℃以上高くしてください。なお、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- シャワー吐水ハンドルは、できるだけ全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。(瞬間型の場合)
- シャワー吐水ハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水弁であらかじめ流量調節を行ってください。(それでも給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合はシャワー吐水ハンドルで調節を行ってください)
- 給水圧力が低い時や水温が高い時は、給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は給湯機の設定温度を少し下げてお試してください。(瞬間型の場合)

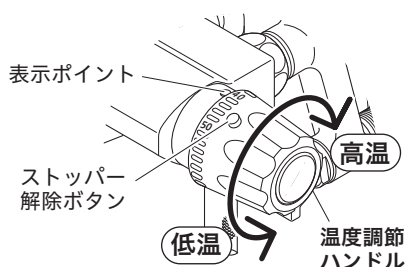
各部の名称



温度調節方法

温度調節ハンドルの目盛を表示ポイントに合わせます。目盛「40」を目安にしてください。高温に回しますと、目盛「40」を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。(温度：約42~45℃) それ以上の高温を出すときは、ストッパー解除ボタンを押しながら回してください。使用後は目盛「40」以下に戻してください。

【注意】
 目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。

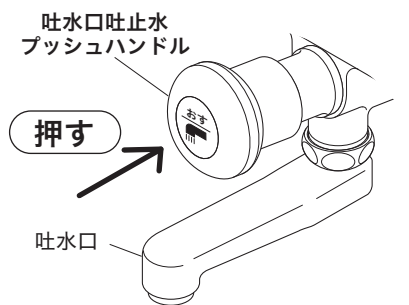


吐水口の吐止水方法

- 吐水** 吐水口吐止水プッシュハンドルを押すと、吐水口から湯水が出ます。
- 止水** 一定量吐水して自動で止水します。

【警告】
 湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

【通水音大きい場合】
 吐水口吐止水プッシュハンドルを使用する際に通水音大きい場合は、湯水の止水弁をしばらく使用してください。(「流量の調節方法」参照)



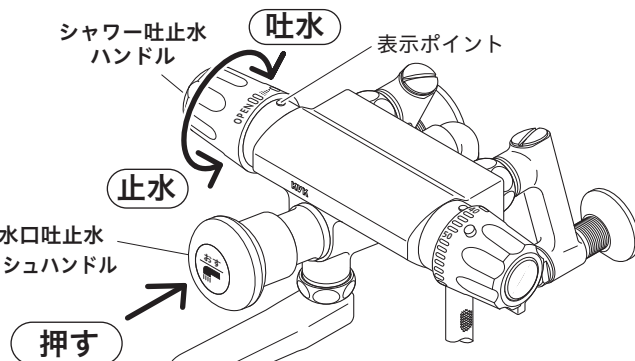
シャワーの吐止水方法 (シャワー仕様の場合)

- 吐水** シャワー吐止水ハンドルを上へ回す(「OPEN」を表示ポイントに合わせ)とシャワーから湯水が出ます。ハンドルを上側いっぱい回しきったところで最大流量になります。
- 止水** ハンドルの「SHUT」を表示ポイントに合わせると止水します。

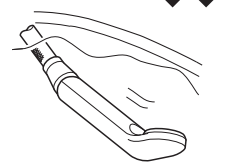
【警告】
 湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

【注意】
 シャワー吐止水ハンドルはゆっくり操作してください。急な操作はウォーターハンマー(水撃)音が発生し、漏水の原因となります。

【通水音大きい場合】 シャワー吐止水ハンドルを使用する際に通水音大きい場合は、湯水の止水弁をしばらくシャワー吐止水ハンドルを全開にして使用してください。(「流量の調節方法」参照)
【止水直後の水滴について】 シャワーを止めた直後、シャワーヘッドから水滴が落ちることがありますが、これはシャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。シャワー止水後は、シャワーヘッドを振って水を切ってください。



【注意】
 シャワーヘッドやホースを水に浸けたまま放置しないでください。水が逆流するおそれがあります。



日常のお手入れ・保守1

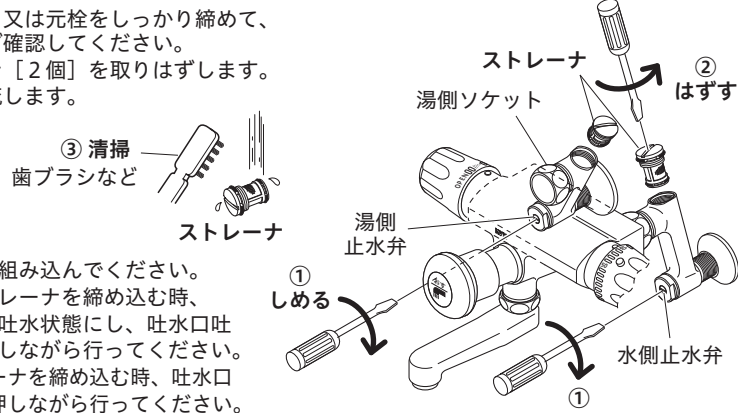
ストレーナの清掃方法

ソケットのストレーナ清掃

ソケットのストレーナにゴミがたまりますと、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合がありますので、定期的に清掃してください。

- 【△警告】
- ・ストレーナの清掃は、止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - ・湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

- ① 湯水の止水弁〔2カ所〕又は元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ② 湯側・水側のストレーナ〔2個〕を取りはずします。
- ③ ゴミ・水アカ等を洗い流します。

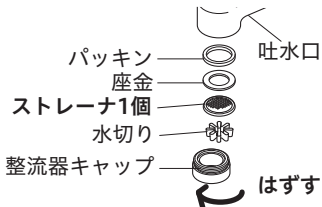


清掃後は上記の逆の手順で組み込んでください。シャワー仕様の場合、ストレーナを締め込む時、シャワー吐止水ハンドルを吐水状態にし、吐水口吐止水プッシュハンドルを押しながら行ってください。混合栓仕様の場合、ストレーナを締め込む時、吐水口吐止水プッシュハンドルを押しながら行ってください。

吐水口のストレーナ清掃

吐水口のストレーナがたまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

- ① 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。
- ② ストレーナをブラシで水洗いします。



清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。水切りを取り付ける際は、方向に注意して（細くなっている方から挿入）あて布をしながら行ってください。

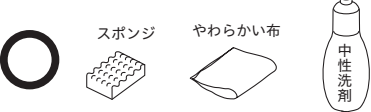
お手入れ方法

【軽い汚れの場合】

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

【ひどい汚れの場合】

中性洗剤をぬるま湯でうすめて、やわらかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭き取ります。



【使ってはいけないもの】

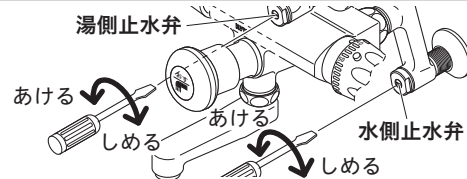
水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビ取り剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

流量の調節方法

流量の調節は右記の方法で行ってください。



温度調節ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルの目盛が吐水温度とズレている場合、温度調節ハンドルをはずして直してください。

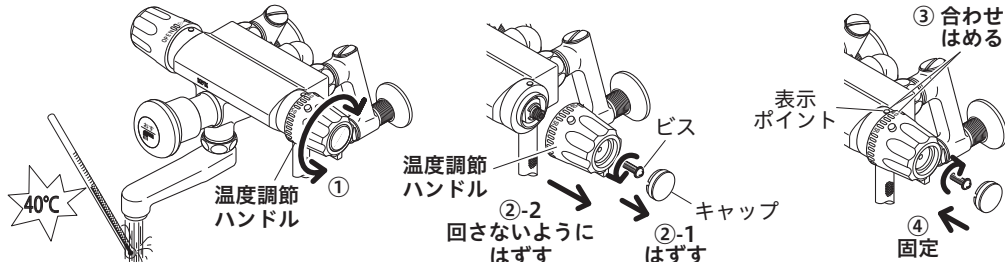
【はじめに確かめてください】

- ・止水弁を全開にしているか確かめてください。
- ・ストレーナにゴミがたまっていないか確かめてください。
- ・給湯温度(60℃以上)の湯が給湯できているか確かめてください。※推奨温度は約60℃です。

- ① 全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯が出る所まで、温度調節ハンドルを回します。
- ② キャップをまっすぐに引き抜いてはずし、ビスをゆるめて温度調節ハンドルを回転させないように取りはずします。
- ③ 温度調節ハンドルの「40」の目盛を表示ポイントに合わせてはめます。
- ④ ビス、キャップにて固定します。

【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。

【△注意】目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。

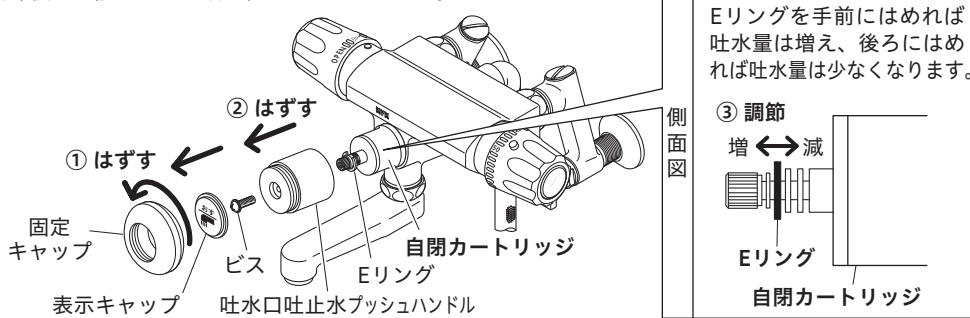


吐水口吐止水プッシュハンドルの吐水量調節方法

吐水口からの吐水量を変える場合は、自閉カートリッジの吐水量調節を行ってください。

- ① 固定キャップ、表示キャップをはずします。
- ② ビスをゆるめ、吐水口吐止水プッシュハンドルをはずします。
- ③ 自閉カートリッジのEリングの位置を変えて、吐水量を調節してください。

調節後は上記の逆の手順で組み込んでください。

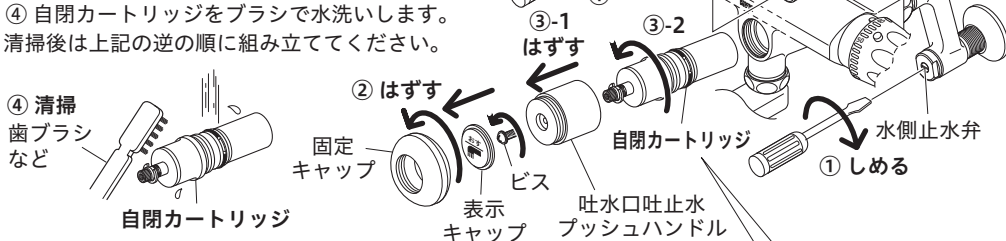


日常のお手入れ・保守2

自閉カートリッジの清掃方法

吐水口からの吐水量が少ない、または湯水が止まらない場合は自閉カートリッジを清掃してください。

- 【△警告】自閉カートリッジの清掃は、止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。自閉カートリッジをいきなりはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ① 湯水の止水弁〔2カ所〕又は元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
 - ② 固定キャップ、表示キャップをはずします。
 - ③ ビスをゆるめ、吐水口吐止水プッシュハンドルをはずし、自閉カートリッジを取りはずします。
 - ④ 自閉カートリッジをブラシで水洗いします。清掃後は上記の逆の順に組み立ててください。



湯水が止まらない場合は、さらに自閉カートリッジのスピンドルを数回押してください。吸水口からピンが出て清掃できます。

凍結の予防方法<凍結が予想される場合>

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- ・配管部などに布を巻きます。
- 【△警告】解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

温度調節ハンドルの操作性（1ヶ月に1回程度）

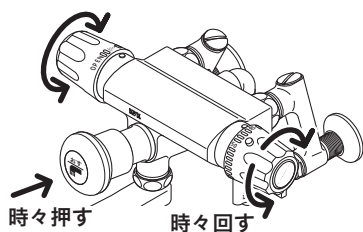
【△注意】時々温度調節ハンドルをいっぱい回してください。温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水アカなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。

【吐水口吐止水プッシュハンドルの操作性】

時々シャワー吐水口吐止水プッシュハンドルをしっかり押しきってください。吐水口吐止水プッシュハンドルを長期間押さずに使用すると機能部に水アカなどが付着し、吐止水機能が損なわれるおそれがあります。

シャワー仕様の場合【シャワー吐止水ハンドルの操作性】

時々シャワー吐止水ハンドルを回してください。シャワー吐止水ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水アカなどが付着し、吐止水機能が損なわれるおそれがあります。



配管まわりからの水漏れ（1ヶ月に1回程度）

【△注意】配管まわりから水漏れがないか確認してください。部品の劣化・磨耗などにより継続的な漏水につながりますので、配管まわりの点検を行ってください。

定期的な部品交換（部品は水栓の種類によって異なります）

使用年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
お客様による日常のお手入れ・点検	○											
消耗部品の交換（こまパックン等）	○											
磨耗劣化部品の交換	○											
部品交換	○											
補修用品の供給期間	○											

【△注意】中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。（逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください。逆止弁は仕様により付いていないものがあります）

部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	自閉カートリッジにゴミ等がつまっていませんか (シャワー仕様のみ) 止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません	自閉カートリッジを清掃する	7ページ「自閉カートリッジの清掃方法」
吐水量が少ない (シャワーが弱い)	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ「流量の調節方法」
	ストレーナにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナを清掃する	5ページ「ストレーナの清掃方法」
	自閉カートリッジにゴミ等がつまっていませんか	自閉カートリッジを清掃する	7ページ「自閉カートリッジの清掃方法」
	吐水口吐止水プッシュハンドルの設定は合っていますか	吐水口吐止水プッシュハンドルの設定を確認する	6ページ「吐水口吐止水プッシュハンドルの吐水量調節方法」
高温しか出ない	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする	—
	ストレーナは凍っていませんか	ストレーナにぬるま湯をかける	—
低温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ「流量の調節方法」
	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ「流量の調節方法」
温度調節がうまくできない	必要とする吐水温度より、給湯機の給湯温度を10℃以上上げる	—	—
	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ「流量の調節方法」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	—
吐水が飛び散る	ストレーナにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナを清掃する	5ページ「ストレーナの清掃方法」
	ストレーナにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナを清掃する	5ページ「ストレーナの清掃方法」
シャワーの吐水状態が不安定 (シャワー仕様のみ)	熱源の温度を下げ（約60℃）、水側止水弁をしぼることにより、改善される場合があります	—	—

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。